

<p>1 審査対象 人を対象とする医学系研究</p>															
<p>2 課題名 「受診を中断した糖尿病患者の臨床像」の検証</p>															
<table border="0"> <tr> <td>3 責任医師（者）</td> <td>職名</td> <td>第二臨床検査科部長</td> <td>氏名</td> <td>大星 隆司</td> </tr> <tr> <td>協力医師（者）</td> <td>職名</td> <td>副院長</td> <td>氏名</td> <td>中 啓吾</td> </tr> <tr> <td>協力医師（者）</td> <td>職名</td> <td>健康診断部長</td> <td>氏名</td> <td>若崎 久生</td> </tr> </table>	3 責任医師（者）	職名	第二臨床検査科部長	氏名	大星 隆司	協力医師（者）	職名	副院長	氏名	中 啓吾	協力医師（者）	職名	健康診断部長	氏名	若崎 久生
3 責任医師（者）	職名	第二臨床検査科部長	氏名	大星 隆司											
協力医師（者）	職名	副院長	氏名	中 啓吾											
協力医師（者）	職名	健康診断部長	氏名	若崎 久生											
<p>4 概要（具体的に記載すること）</p> <p>（1）目的 第 55 回日本糖尿病学会近畿地方会で発表した「受診を中断した糖尿病患者の臨床像」(a. 男性、b. 65 歳未満、c. 罹病期間 10 年未満、d. 治療期間 5 年未満、e. GAD/1A-2 の実施あり、f. TG\geq150、g. 尿酸\geq7.0、h. 網膜症なし、i. 過去 1 年間の眼科受診なし、j. 過去 1 年間の栄養指導あり、k. ACE1/ARB の使用なし)が、受診中断患者にどの程度当てはまるかを検証する。</p> <p>（2）対象及び方法 2017 年 4～6 月に内科を受診した糖尿病患者 1789 例のうち、2017 年度に受診を中断した 43 例を対象とする。 a～k を有する受診患者各々の中断率を全受診患者と比較する。 χ^2 検定をおこない、$p < 0.05$ を有意とする。</p> <p>（3）実施場所及び実施期間 和歌山労災病院</p> <p>（4）審査を希望する理由 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会の演題登録のため。</p>															
<p>5 実施計画の医療行為等における倫理的配慮について 〔※（1）～（3）は必ず記入のこと〕</p> <p>（1）対象者の人権擁護 特定の個人が識別できないよう氏名、生年月日、住所等は匿名化しデータ処理を行う。</p> <p>（2）対象者に理解を求め同意を得る方法 介入及び侵襲はなく診療情報のみを用いる後ろ向き観察研究であることからオプトアウトとし、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない</p>															

場合は削除する。

(3) 対象者への不利益及び危険性
特になし。

(4) 予測される医学的貢献
糖尿病患者のチーム医療に関する臨床的知見を得ることができる。

(5) その他
お問い合わせ先

和歌山労災病院 臨床検査科 大星隆司

電話 073-451-3181 (代表)